



福島南ロータリークラブ会報



RI会長 ジョンF.ジャーム テーマ「人類に奉仕するロータリー」

RI第2530地区ガバナー 佐久間 英一

福島南ロータリークラブ 会長 佐久間 功 幹事 横山 りつ子

目標「明るく、元気に広がる奉仕の輪」

平成28年

12月7日(水)

例会場：福島サンパレス

第21回
例会

会員 / 75名 出席 / 38名 出席率 / 50.7%

メイクアップ / 37名 修正 / 75名 修正率 / 100.0%



会長挨拶 会長代行 齋藤 浩

2016-2017年度 福島南ロータリークラブ会長代行

皆さん今日は、本日今年度第21回例会ですが、お寒い中ご出席頂きまして有り難う御座います。例年この時期、師走に入りますと多くの方が精神的にも肉体的にも、最も強くストレスを感じる時期では無いでしょうか。会長代行としては、それらを払拭する様な楽しい例会にしたいと考えながら、開会点鐘を致します。

それではご案内のように佐久間会長が体調不良のため、近々入院され、手術の予定と伺っております。そこで会長に代わってご挨拶と申し上げますが、その前に本日のお客様をご紹介します。

成蹊高校の校長 本田哲郎様、1年生の黒澤佳奈さん、2年生の三浦菜々夏さん、3年生の大友亮君、米山奨学生の張 芳宇(チャン ファンユウ)さんの皆様で御座います。

それでは、会長挨拶を申し上げます。

私は、今から38年程前に、このクラブのメンバーとなりましたが、その当時から現在まで在籍されておられるメンバーは金子與宏さん、鈴木恒昭さんと私の3人だけとなりました。

当時は50名程の会員が在籍しておりましたが、例会には欠席する者も無く、全員が好意と友情に育まれ、いつも楽しい例会だったことを思い出しておるところでございます。

30年前の創立15周年の年度には会長に任命され、毎週この壇上からそれなりのスピーチをさせていただいたことなど走馬灯のように思い出されます。当時は会員増強など耳にすることも無く、右肩上がりの展開に、ロータリーの脅威を感じておりました。その後30年の間に、大部分の会員が他界され、あるいは退会されて、より若いエネルギッシュなメンバーに代わりました。その結果、多方面でより活発な奉仕活動が展開されていることは申し上げるまでも御座いません。

しかし、ロータリーの最終目的は世界平和にあることを思えば、紛争、避難民受入れ、貧困、ポリオプラスなど解決されるべきものが山積しております。その前に、まずは自分達の足下を注視すべきでは無いだろうか。今更出席されている皆様に申し上げるべきことでは御座いませんが、我々は例会に出席する義務があります。本来ですと、今日も75名の会員全員がこの場に出席し、互いに好意と友情を育むことになっている。しかし、残念なことに、このところはそのような情景を見ることは全くない。ロータリーは多忙な人間の集団ですから、稀には例会を欠席せざるを得ないことも御座いましょう。それらについてはご承知の通り、救済される Make up という方策も認められております。だからといって、1ヶ月も2ヶ月もそれ以上1年も2年も3年も欠席を続けている者に対しては、それなりの対応が必要ではないだろうか。

出席委員会では今年度の計画書に明記されているように「例会に出席することは、クラブ会員であれば当然のことで、出席の低下した会員には出席を促す」としていることは理解出来ますが、過去何年かの実績を見るまでもなく、その効果はほとんどないでしょう。理事の中には消極的なものが多く、会費を納めているのだからと、思いやりをもって出席を促すことが良からう、という結論だ。

該当者は地域社会に於いて、それぞれに活躍され、互いに親交のあるメンバーも居られるのですが、退会したからと言って、互いの友情にひびが入ることはないでしょう。退会しても出席可能になったら、また入会すれば良いのではないだろうか。誤った思いやりを掲げること無く、自浄作用で円満に解決したいものです。

最近当クラブではそのような事例があったばかりだ。何とか該当者の自覚を促す方策は無いだろうか。皆さんの英知を結集すれば、明日にでも解決されることではないだろうか。こんなことを来年度まで引き継ぐことは避けたいものです。

以上、皆様に御願ひして、会長挨拶といたします。

12月14日(水)のプログラム

- 12:30 1 開会点鐘
- 2 ロータリーソング 「奉仕の理想」
- 3 行動規範の唱和
- 4 来訪者紹介と会長挨拶
- 5 結婚のお祝い
- 6 誕生祝い
 - ・誕生祝いプレゼント
 - ・1分間スピーチ
 - ・おめでとうシャワー
 - ・写真撮影
- 7 IAC 国際理解研修報告
- 8 お食事をどうぞ
 - ・スマイリングBOXの報告
 - ・幹事報告
- 9 クラブ年次総会
- 10 次年度理事・役員挨拶
- 11 各委員会報告
- 13:30 12 閉会点鐘

今後のプログラム

- 12月21日(水)
米山奨学生スピーチ
家族クリスマス忘年会(夜間例会)
- 12月28日
休会

地区情報・第一分区・関連情報

- 1月4日(水)
市内ロータリークラブ合同新年例会



12月ロータリーの友読みどころ
クラブ広報・雑誌委員会 丹治 洋子委員長



米山奨学金授与
米山奨学生 張 芳宇さん



ご挨拶

福島成蹊高等学校

本田 哲郎 校長先生

日頃より福島南RCの皆様には大変お世話になります。奨学生3名は、優秀な生徒であります。奨学金感謝申し上げます。当校では、地域に役立つ人材育成を目指し日頃から教育に取り組んでおり様々な活動を展開しております昨今では、海外でのショートステイを実行し国際感覚も養っております。

今後とも当校へのご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



1年生 黒澤 佳奈さん
2年生 三浦 菜々夏さん
3年生 大友 亮さん



姉妹クラブ東京麹町RCからのご案内

姉妹クラブ担当

高橋 勇雄 会員

来年1月27日ご案内のように東京麹町RCのポリオ活動支援活動の一環で行われる、バレエ「新白鳥の湖」公演があります。終演が午後9時30分となり東京にお泊りになることとなりますが、是非多くの皆様のご参加よろしくお願いします。



会員スピーチ

植木 洋司 会員

初めて学んだことが、職業奉仕という言葉。医師として勤める仕事は、すべてが奉仕であり患者さんへの奉仕が小生の生き方の基本と考えていた。ロータリーの職業奉仕という言葉聞いて(知って)これならロータリーの仲間になれると考えて入会した事を思い出す。

職業奉仕とは

単に己れと患者さんへの専門的知識から接する、技術、知識の進歩発展だけでなく周りの人達含めて(他の職種も含む)専門知識の伝達と皆で患者さんの要望治療に答えることがロータリーの仲間として職業奉仕を実践する姿であることを最近やっと理解した。チーム医療や医師会活動も広い意味でロータリーの職業奉仕と言えるのではないかと。

職業奉仕がロータリーの中心と考えてロータリーに参加して例会にて次から次へと仲間が増えて他の職種の仲間と触れ合い沢山の楽しみ、知識、喜びを味わうことができ、これもロータリー活動の大きな目的の一つと実感しています。

他職種の人、先輩達、更に最近の若い仲間とのふれ合いをもっと拡げて本当のロータリー活動を楽しみたい。

専門的な知識、世界の内に入り込んでいる仕事でしたが(それも本人は楽しかった)ロータリーの仲間と話しているうちに身の周りの世界が更に広がったと感じている昨今である。これからも続けてゆきたいと思っています。